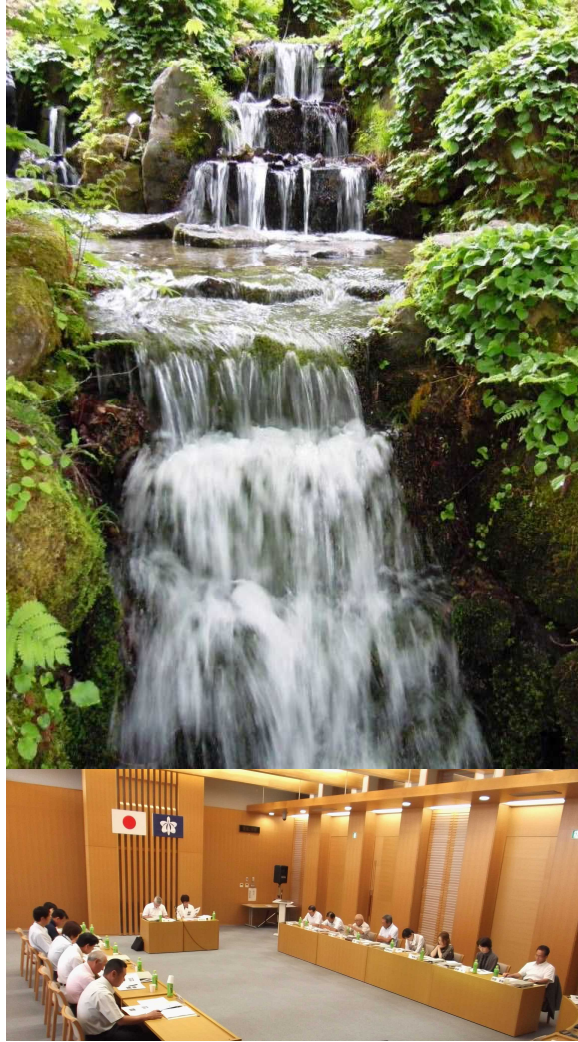


東由利まちづくり協議会  
検討のまとめ

東由利まちづくりビジョン



平成29年3月24日

東由利まちづくり協議会

# 東由利まちづくり協議会 活動実績

(平成27年8月～平成29年7月)



会議名		開催日	備考
まちづくり協議会	H27 第1回	H27.8.9	委嘱状交付、会長・副会長選任、部会設置 ほか
	第2回	H27.9.8	協議会活動の進め方、専門部会活動の進め方 ほか
	第3回	H28.3.23	専門部会検討内容の中間報告と意見交換 ほか
	H28 第4回	H28.11.2	専門部会検討内容のまとめ報告と意見交換 ほか
	第5回	H29.3.24	「東由利まちづくりビジョン」個票改訂と意見交換 ほか

専門部会		開催日	案件等
運営部会	第1回	H27.8.27	部会の設置と運営について 第2回まちづくり協議会の日程について 協議会活動の進め方について
	第2回	H28.2.8	第3回まちづくり協議会の日程について 専門部会の検討中間報告について
	第3回	H28.5.27	部会の運営について 第4回まちづくり協議会の日程について
	第4回	H28.10.19	部会のまとめについて 第4回まちづくり協議会の日程について
	第5回	H27.7.2	第5回まちづくり協議会の日程について 「東由利まちづくりビジョン」の個票改訂について 協議会活動の総括
市民福祉部会	第1回	H27.9.8	「東由利まちづくりビジョン」個票の説明 重点検討課題の選定について 課題検討の進め方について
	第2回	H28.1.29	流雪溝の状況視察 3月協議会における中間報告について
	第3回	H28.2.24	中間報告のとりまとめについて 新年度の調査活動等について
	第4回	H28.6.3	少子化対策のあり方について 交通空白地帯の解消と交通弱者救済 定住人口確保のために
	第5回	H28.10.11	部会のまとめについて
産業建設部会	第1回	H27.9.8	「東由利まちづくりビジョン」個票の説明 重点検討課題の選定について 課題検討の進め方について
	第2回	H27.12.10	機能的な社会基盤の整備(雪対策の推進)について
	第3回	H28.1.26	優先課題の検討(農業振興)について
	第4回	H28.3.1	優先課題の検討(観光振興)について
	第5回	H28.6.30	検討内容の絞り込み その方向性と具体的施策等の検討 最終報告に向けたスケジュール
	第6回	H28.7.28	地域資源の活用と特産物開発
	第7回	H27.8.25	観光の振興について 今後のスケジュールについて
教育文化部会	第1回	H27.9.8	「東由利まちづくりビジョン」個票の説明 重点検討課題の選定について 課題検討の進め方について
	第2回	H27.10.18	東由利地域にある施設・観光ポイントの巡回視察
	第3回	H28.1.27	地域課題の確認と優先課題の検討
	第4回	H28.2.22	中間報告のとりまとめについて 新年度の調査活動等について
	第5回	H28.6.16	今後の日程について 視察研修について
	視察研修	H28.7.24	地域外施設見学
	第6回	H28.9.29	部会のまとめについて

## 東由利まちづくりビジョン 検討個票一覧

基本政策	基本計画	検討課題	H28	所管
1 力強い産業振興と雇用創出	(1)事業意欲の喚起と雇用対策の強化	雇用対策の推進について		産業課
	(2)工業の振興	地域資源の活用と農商工連携		産業課
	(3)商業の振興	地域資源の活用と付加価値化、地域の賑わいづくり		産業課
	(4)農業の振興	農地の有効利用、地域特産物の生産拡大、経営体の育成	○	産業課
		畜産の産地形成と経営安定		産業課
		地域資源の活用と付加価値化	○	産業課
	(5)林業の振興	林道・作業道の森林路網の整備		産業課
		森林の有効活用と育成		産業課
		特用林産物の活用		産業課
	(6)水産業の振興			
(7)観光の振興	情報発信と受入態勢の充実	○	産業課	
	観光資源の開発と活用	○	産業課	
	観光振興の環境整備	○	産業課	
2 安全・安心・快適な定住環境の向上	(1)自然環境の保全	山林の保全と森林の公益的機能の維持		産業課
		農地の保全と多面的機能の維持		産業課
	(2)快適な住環境の整備	定住人口確保のために	○	市民福祉課
		良質な住環境の形成		建設課
		上下水道の整備と生活雑排水対策の推進		建設課
	(3)機能的な社会基盤の整備	交通空白地帯の解消と交通弱者の救済	○	振興課
		道路網の整備		建設課
雪対策の推進		○	建設課	
(4)防災・減災のまちづくり	防災意識の高揚と克雪の取り組み	○	振興課	
3 笑顔あふれる健康・福祉の充実	(1)保健・医療の充実	健康寿命を延ばすために		市民福祉課
	(2)子ども・子育て支援の充実	少子化対策のあり方	○	市民福祉課
	(3)高齢者福祉の充実	介護支援の充実	○	市民福祉課
	(4)障害者福祉の充実			
	(5)地域福祉・社会保障の推進			
4 ふるさと愛を育む次代の人づくり	(1)幼児教育・学校教育、青少年健全育成の充実	ふるさと愛の醸成	○	教育学習課
	(2)生涯学習社会の推進	芸術文化の振興と文化保護の推進	○	教育学習課
	(3)スポーツ立市の推進	既存体育施設の維持・存続とスポーツの振興策	○	教育学習課
5 市民主役の地域づくりと市政経営	(1)男女共同参画社会の推進			
	(2)国内外交流の推進			
	(3)住民自治の推進	地域コミュニティ機能の活性化	○	振興課
	(4)開かれた市政の推進			

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(1)事業意欲の喚起と雇用対策の強化
検 討 課 題	雇用対策の推進について
現 状	1) 勤務先が少ない、若者が働ける場所がない。 2) 賃金が安い。 3) 正規雇用の場が少ない。
問 題 点	
目指すべき方向	①既存企業の支援・活性化、新規分野の開拓について ・地元の既存企業を発展させることにより、賃金の改善や雇用の拡大を図る必要がある。 ・そのためにも既存企業の支援・活性化が不可欠であり、企業との情報交換を密にして支援策を講じる必要がある。 ②起業や新規分野の支援について ・新たな事業の起業や新規分野の開拓等について支援し、若者が働ける場所や勤務先の創出につながる取り組みを推進する必要がある。 ③高齢者の雇用対策について ・経験豊富な高齢者が、その知識や経験を活かせる仕事の掘り起こしや組織を創設する。
具体的な施策	・起業塾、起業相談、起業資金等の起業支援制度の拡充 ・地域企業との懇談会
参考・資料・写真	 

産業課

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(2)工業の振興
検 討 課 題	地域資源の活用と農商工連携
現 状	1) 地域の工業に携わる人も高齢化しており、また、後継者がいない事業所も少なくない。 2) 地域の工業は、電子部品や精密機械、木箸の製造の工場のほかは、衣類縫製の工場が多い。農産物や山菜などの地域資源を活かした加工・販売などの事業所は少ない。
問 題 点	
目指すべき方向	①地元業者の育成、企業立地について ・地域の出身者等の人脈を活かした有望な分野の企業誘致や交流連携、販路の拡大を図る必要がある。 ②地域資源の活用と付加価値化について ・地域の資源を活用した商品、事業化について、農商工連携で取り組み・推進する必要がある。
具体的な施策	・出身者の人脈を活かした企業誘致、販路の拡大 ・農商工連携による商品化・事業化の支援
参考・資料・写真	   

産業課



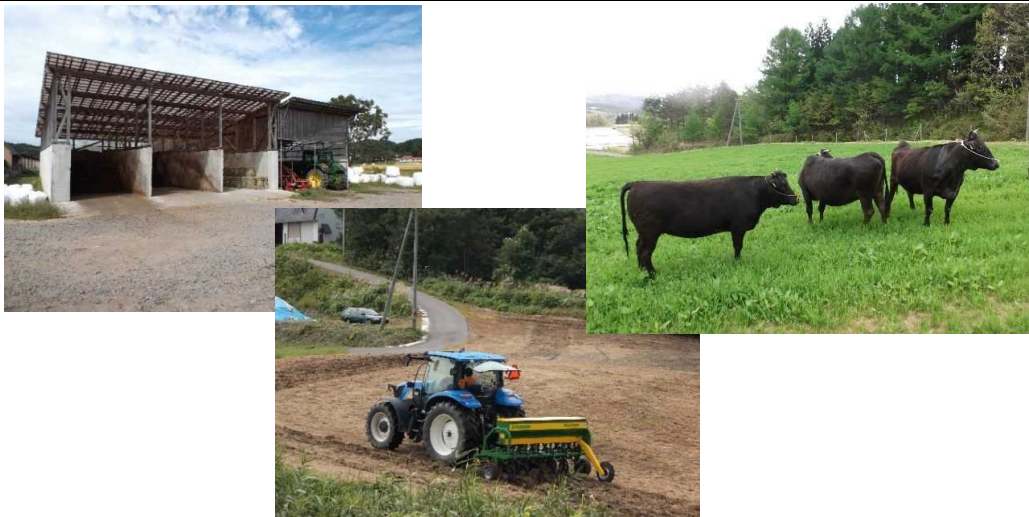
# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(3)商業の振興
検 討 課 題	地域資源の活用と付加価値化、地域の賑わいづくり
現 状	<p>1) 地域の商業に携わる人も高齢化しており、また、後継者がいない事業所も少なくない。</p> <p>2) 地域の商業は、小規模な小売業が大半である。農産物や山菜などの地域資源を活かした流通・販売などの事業所は少ない。</p> <p>3) 地域住民の利便性向上と地域活性化施設として、地場産業センター「ぶれっそ」が商業施設として整備されているが、地域内に商店街はなく、地域の購買人口も減少している。</p>
問 題 点	
目指すべき方向	<p>①賑わいのある拠点の形成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に魅力ある商業エリアを形成するため、その拠点となる地場産業センターを維持し、地域内外からの人とモノが交流する拠点として伸ばしていく必要がある。</li> </ul> <p>②地域資源の活用と付加価値化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生産又はとれるものの商品化と流通・販売に取り組み、地域経済の活性化を図る必要がある。</li> </ul> <p>③集落と地域の賑わいづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元出身の若者や縁故者が参加できる、参加したくなるような行事や事業(取り組み)を興し、人とモノの交流により高齢化や後継者不足の集落(地域)に賑わいと元気を取り戻す必要がある。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業センターの維持補修</li> <li>・農商工連携による商品化・事業化の支援</li> <li>・地元出身の若者や縁故者への情報提供と呼びかけ</li> </ul>
参考・資料・写真	

# 東由利まちづくりビジョン個票


部 会 名	産業建設部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(4)農業の振興
検 討 課 題	農地の有効利用、地域特産物の生産拡大、経営体の育成
現 状	<p>1) 米価の低落や生産コストの高騰、米の消費量の低下と銘柄・産地間競争が厳しくなり、稲作農家の経営は極めて厳しい状況にある。</p> <p>2) 農家の高齢化と後継者不足は進行しており、病虫害防除や農作業の担い手が不足し、耕作放棄地も発生し、年々増える傾向にある。</p> <p>3) 地域の農業は依然として、水稻偏重の経営であり、収益性の高い作目と周年農業への取り組みがまだまだ低調である。</p> <p>4) 高齢化と後継者不足により離農、農地を貸したい農家が増えているが、受け手が少なく、条権の悪い農地は受け手がいない。</p>
問 題 点	
目指すべき方向	<p>①適地適作による生産の振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東由利地域の立地条件から農地を有効活用できるのは水稻であるが、生産コストの低減を図りつつ、極めて良食味の米を生産する必要がある。</li> </ul> <p>②農地の有効活用と地域特産物の生産拡大について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有休農地の排水改良などの条件整備を行い水田の畑地化を進め、野菜、花き、果樹、山菜等で所得確保が可能な作目の生産・販売を推進する必要がある。</li> </ul> <p>③経営体の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の担い手を確保するため、農業法人の確保・育成、新規就農者・定年帰農者の支援、離職者、企業等の農業参入の支援、担い手への農地集積などの支援を図る必要がある。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極良食味米の生産と低コスト化</li> <li>・無人ヘリ等による病虫害防除体制の整備</li> <li>・水田の畑地化整備</li> <li>・農業用排水施設の整備</li> <li>・野菜、花き、果樹、山菜等の生産・販売の推進、薬草販売等</li> <li>・農業法人の確保、育成</li> <li>・離職者、企業等の農業参入の支援</li> <li>・飼料用米等による水田活用と団地化</li> <li>・土地改良施設の適正な維持</li> <li>・初期投資、新規参入の支援</li> <li>・新規就農者・定年帰農者の支援</li> <li>・担い手への農地集積・集約化の推進</li> </ul>
参考・資料・写真	 

## 東由利まちづくりビジョン個票


部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(4)農業の振興
検 討 課 題	畜産の産地形成と経営安定
現 状	<p>1) 輸入飼料の高騰、牛肉等の輸入枠の拡大などにより畜産経営は極めて厳しい状況にある。</p> <p>2) 畜産農家の高齢化と後継者不足は進行しており、少頭飼いの農家は減少し、多頭飼育の傾向にあるが、粗飼料の確保とコスト低減が課題となっている。</p> <p>3) 飼育規模の拡大志向はあるものの、施設・機械等の整備に多額の経費がかかるため、手厚い補助制度等による支援が必要である。</p> <p>4) BSEや口蹄疫等の家畜伝染病は畜産農家にとって大きな脅威であり、家畜衛生対策の徹底と発生時の速やか対応が必要である。</p>
問 題 点	
目指すべき方向	<p>①草地の整備、更新の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産コストの低減を図り、優秀な肉用牛の生産に必要な粗飼料を確保するため、生産基盤となる草地の整備と更新を支援する必要がある。</li> </ul> <p>②畜舎・堆肥舎等の整備支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産経営の規模拡大を図るために必要な畜舎や堆肥舎、畜産管理機械等については多額の費用がかかる。畜産経営の安定を図るためにも、補助制度や低利の資金制度を整備し、支援する必要がある。</li> </ul> <p>③共同育成管理施設の整備支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産農家が現在ある施設規模を維持し、無理なく経営規模を拡大する方策の一つとして、共同育成管理施設は有望であり、地域の生産規模拡大を図るためにも施設整備について検討する必要がある。</li> </ul> <p>④埋却地の確保と家畜衛生対策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜伝染病が発生した場合、速やかな措置が必要となる。特に埋却地の確保は急務であり、予め埋却地を確保しておく必要がある。</li> <li>・日頃からの家畜衛生意識の醸成が必要であり、定時報告の徹底と衛生管理意識の向上を図る必要がある。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草地の整備、更新の支援</li> <li>・畜舎・堆肥舎等の整備支援</li> <li>・共同育成管理施設の整備支援</li> <li>・埋却地の確保と家畜衛生対策の推進</li> </ul>
参考・資料・写真	




# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業建設部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(4)農業の振興
検 討 課 題	地域資源の活用と付加価値化
現 状	<p>1) そばの作付け面積は、年々増加している、しかし、乾燥調整施設がなく、また玄そば生産にとどまり収益性に乏しい。</p> <p>2) 伝統野菜、山菜等の地域資源等があるが必要量の確保が難しく、有利な販売に繋げにくく、その取組も遅れている。</p> <p>3) エゴマについては、平成28年度生産組合を立ち上げ、次年度以降規模拡大を計画。</p> <p>農産物、山菜等の生産・加工の取組が不足している。また、商品化や流通・販売力が弱く、低迷傾向にある。</p>
問 題 点	
目指すべき方向	<p>①そばについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥・製粉・製麺施設の整備を視野に入れ、玄そば生産に止まらず、製粉や製麺などに取り組み付加価値を上げて、収益性の向上を図る必要がある。</li> <li>・付加価値を高めるために必要な施設・整備について、市が支援する必要がある。</li> </ul> <p>②伝統野菜、山菜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産・出荷に止まっている地場産物について、生産から加工・流通・販売などの取組みに発展させる必要がある。</li> <li>・6次産業化を推進するため、農商工の連携はもとより、観光との連携、外部アドバイザーの招聘等、あらゆる手法により支援を図る必要がある。</li> </ul> <p>③エゴマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・由利本荘市エゴマの会により、生産マニュアルを確立し作業効率の向上を図りながら規模拡大し、選別機等の導入により産地化を目指す。</li> <li>・製品製造の販売は、加工施設の協力を得つつ販路拡大を目指す。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そば乾燥・製粉・製麺施設の整備</li> <li>・6次産業化の取組支援(ソバ粉の菓子試作H28)</li> <li>・エゴマ等の新規作物の推進及び支援(H28～)</li> </ul>
参考・資料・写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">そば畑</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">ゼンマイ乾作業</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">そば粉商品試食会</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">エゴマ、エゴマ油</p> </div> </div>

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(5)林業の振興
検 討 課 題	林道・作業道等の森林路網の整備
現 状	1) 山の手前に耕地があり、作業用の重機が入れない場所が多い。現在の林道は、必ずしも現在の搬出方法に適しているとはいえない。
問 題 点	
目指すべき方向	①山の入り口への林道整備について ・現在の搬出方法に適した重機や機械が入れるように、山の入り口まで林道・作業道等の整備を図る必要がある。
具体的な施策	・山の入り口への林道整備
参考・資料・写真	

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(5)林業の振興
検 討 課 題	森林の有効活用と育林
現 状	<p>1) 現在の林業は、高度成長期の拡大造林等による森林に頼っている感がある。利用価値の高い針葉樹林を後世に残すためにも、育林に対する補助金が必要である。</p> <p>2) 里山は、人間の利活用により作られた自然と考える。利活用が減少することにより、災害の起因となる可能性が高まる。災害復旧予算と里山利用補助金を比較すると、後者が格安で貢献度が高い。</p> <p>3) 有休農地や原野がいずれ林地化すると考えられるが、付加価値の高い樹木(有用樹)や成長性の高い樹木を植林してはどうか。</p> <p>4) 森林資源の活用と情報発信、交流が行われているが、もっと推進すべきと考える。</p>
問 題 点	
目指すべき方向	<p>①育林に関する支援制度・補助金、杉と雑木の混合林の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用価値の高い針葉樹林を混合林を後世に残すためにも、育林に対する補助金が必要である。</li> </ul> <p>②里山整備・利活用の支援制度・補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧予算と里山利用補助金を比較すると、後者が格安で貢献度が高い。里山整備・利活用の支援制度・補助金の整備する必要がある。</li> </ul> <p>③有用樹種・結実樹種の育成と拡大について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付加価値の高い樹木(有用樹)や成長性の高い樹木の植林について支援し、土地の有効活用を推進する必要がある。</li> </ul> <p>④森林資源の活用と情報発信、交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造林作業体験や山菜・キノコ採りなどの森林ツーリズムを通して、森林資源の活用と情報発信・交流による林業の活性化を推進する必要がある。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育林に関する支援制度・補助金</li> <li>・杉と雑木の混合林の推進</li> <li>・里山整備・利活用の支援制度・補助金</li> <li>・有用樹種・結実樹種の育成と拡大</li> <li>・森林ツーリズムの推進(造林作業体験、山菜・キノコ採り等)</li> </ul>
参考・資料・写真	



## 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(5)林業の振興
検 討 課 題	特用林産物の活用
現 状	1) 農地の林地化、原野の林地化、放置された雑木のナラ枯れ被害など、手入れや更新されない森林の荒廃と拡大により、山菜・キノコなどの発生環境も厳しくなっている。 2) 中山間地域である東由利を訪れる人が期待し、買い求める地場産の林産物が、他の地域に流出して、地元の店頭に並ぶ量が少ない。
問 題 点	
目指すべき方向	①特用林産物生産の条件整備について ・キノコや山菜、栗などの林産物について、遊休地を活用して栽培するなど、生産への取り組みを進める必要がある。 ②山菜・キノコの栽培、加工出荷について ・他地域から期待される山菜やキノコについて、原料出荷はもとより、年間を通じて出荷できるように加工にも取り組む必要がある。 ③山菜の集出荷体制の整備について ・その立地環境から期待されている山菜について、将来にわたり継続できるように、地域内で営まれている現在の集出荷を引き継げる組織体制の整備を図る必要がある。
具体的な施策	・特用林産物生産の条件整備 ・山菜・キノコの栽培、加工、出荷 ・山菜の集出荷体制の整備
参考・資料・写真	   




# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業建設部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(7)観光の振興
検 討 課 題	情報発信と受入態勢の充実
現 状	1) 現在、年間を通して色々なイベントが開催され、施設も整備されているが、地域から外への情報発信が少ない。 2) 地域の活性化拠点として道の駅エリアと八塩いこいの森エリアに、それぞれ施設が整備され事業活動しているが、関係施設・組織で情報の共有と連携が不十分である。 3) 新たな企画・催しの仕掛け人がいない。また係るスタッフの確保が難しい。
問 題 点	
目指すべき方向	①観光協会支部の充実について ・観光協会支部の役員・事務局の積極的な取り組みにより、組織並びに事業の充実を図る必要がある。 ②関係施設、団体との情報の共有と発信について ・地域の関係施設、団体との連携を密にして、情報を共有し、マスコミ等に積極的に情報発信する。 ③観光案内所機能の整備・委託について ・活性化拠点施設で地域の観光情報が得られるように、関係者への情報提供や研修を行いながら、観光案内所機能の整備を図る必要がある。
具体的な施策	①情報発信について ・地域観光マップ「東由利散歩」のリニューアル(平成28年度実施)。 ・八塩山の山野草マップ(平成29年度発行予定) ・年間行事予定カレンダー(平成29年度発行予定) ・東由利地域のホームページの充実を図る。 ②観光案内所の整備について ・H28.8月「黄桜の里ひがしゆり案内人」が発足(11人)。 ・案内人の会を核とした学習会や、関係者への情報提供、湯楽里、ぷれっその案内所的機能の向上を図る。 ③道の駅「休憩所」情報発信装置について ・情報端末設置について関係機関へ早期設置を要望する。 ・最新ポスター等の掲示により情報発信に努める。
参考・資料・写真	 

産業課

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業建設部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(7)観光の振興
検 討 課 題	観光資源の開発と活用
現 状	<p>1) 地元の人には気づかないが、外部の人が魅力的と感じる資源や景観がある。この資源に気づいておらず、活用もされていない。</p> <p>2) 学術資源、伝統芸能や文化、縄文遺跡、史跡、小松音楽兄弟、遠藤章氏、高橋宏幸氏などの地域の歴史、文化、偉人などの活用が不十分である。</p> <p>3) 情報の発信にとどまっており、資源を活用したり、食農観連携によるビジネス化の取り組みが乏しい。</p>
問 題 点	
目指すべき方向	<p>①観光資源の開拓と活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトコンテスト等により、外部目線での観光資源の発見、掘り起こしに取り組む必要がある。</li> <li>・既存の観光資源を活かした「観光コース」をつくり、その受入れ態勢を充実させるため、観光ガイド人を養成する必要がある。</li> </ul> <p>②歴史、文化、偉人等の地域財産の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の財産を有効活用し、ビジネス化する必要がある。</li> </ul> <p>③交流人口の拡大推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統食や地域食、地域特産物を利用した体験や交流、グリーンツーリズムを推進し、交流人口の拡大を図る必要がある。</li> </ul>
具体的な施策	<p>①フォトコンテスト等による観光資源等の発掘</p> <p>②ボツメキ湧水の活用について</p> <p>ボツメキ湧水を活用した、「環境協力金」・「ボツメキ湧水の販売」等について、広く意見を募り、検討を重ねて環境の整備、資源保護に活用。(H28～)</p> <p>③八塩生涯学習センターに歴史、文化、偉人の各展示室を整備(H27～)</p> <p>④秋田由利牛等のイベントによる集客</p>
参考・資料・写真	 <p>ボツメキ湧水</p>  <p>チップボックス</p> 




産業課

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業建設部会
基 本 政 策	1 力強い産業振興と雇用創出
基 本 計 画	(7)観光の振興
検 討 課 題	観光振興の環境整備
現 状	1) 観光入り込みはあるが、宿泊施設がないため、日帰りが大半である。 2) 道の駅も、他の観光地等へ周遊客の立ち寄り場所となっているため、東由利地域の情報提供による取り込みが必要である。 3) 観光資源が、八塩山、八塩いこいの森エリアに止まり、乏しい感じが否めない。
問 題 点	
目指すべき方向	①活性化拠点施設の整備について ・地域の活性化拠点である道の駅東由利エリアと八塩いこいの森エリアの施設の整備・充実を図る必要がある。 ・道の駅の立ち寄り観光客等に対するサービス機能の整備を図る必要がある。 ②歴史、文化、偉人等の地域財産の活用について ・八塩生涯学習センターに歴史、文化偉人などの地域財産の展示室を整備する必要がある。 ③交流施設の整備について ・八塩山、ボツメキ、八塩いこいの森エリアを活用し、パークゴルフ場整備や誘客イベントを開催し、周遊客の取り込みを図る必要がある。 ・八塩いこいの森エリアの道路や案内看板等環境を整備し、入り込み客の拡大を図る必要がある。
具体的な施策	・黄桜温泉「湯楽里」の維持補修(H28～)、裏の広場利用(H29～) ・地場産業センターの維持補修 ・道の駅にEVEN充電スタンド等の観光客等に対するサービス機能の整備(H28) ・八塩パークゴルフ場の整備(H29完成) ・八塩いこいの森の維持管理 ・案内看板の整備と道路の草刈り ・誘客イベントの開催
参考・資料・写真	   



# 東由利まちづくりビジョン個票


部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(1)自然環境の保全
検 討 課 題	山林の保全と森林の公益的機能の維持
現 状	1) 近年の異常気象による災害が多発し、森林の保全、公益的機能が重要視されてきており、災害に強い、安全・安心な地域づくりを要望する声が高まっている。 2) 高齢化、後継者不足により、森林の手入れがされず、荒廃が進んでおり、対策が急がれる。
問 題 点	
目指すべき方向	①保安林や治山施設等の整備について ・地域の人や財産を守るため、山間の危険地域にあつては保安林指定や治山施設等を整備し、安全対策を講じる必要がある。 ②水源林の保全、間伐等の森林整備について ・生活の必要な水と環境を守るため、その水源となる森林について、官民一体となって保全する必要がある。 ・里山は人間が適度に手入れすることで維持されており、野生生物と人間が暮らす地域の緩衝地帯となり、自然災害や獣畜被害が少なく抑えられている。引き続き間伐等の手入れにより環境の保全を図る必要がある。
具体的な施策	・保安林や治山施設等の整備 ・水源林の保全 ・間伐等の森林整備
参考・資料・写真	  






## 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(1)自然環境の保全
検 討 課 題	農地の保全と多面的機能の維持
現 状	1) 近年の異常気象による災害が多発し、農地の保全、公益的機能が重要視されてきており、災害に強い、安全・安心な地域づくりを要望する声が高まっている。 2) 高齢化、後継者不足により、中山間地域の農地の遊休化が進んでおり、対策が急がれる。
問 題 点	
目指すべき方向	①農地の保全、多面的機能の維持について ・農地が持つ貯水・水量調整機能、環境保全や景観形成による癒しなどの多面的機能については、国民の守るべき財産として維持する必要がある。
具体的な施策	・農地の保全、多面的機能の維持 ・日本型直接支払交付金制度の活用
参考・資料・写真	 


# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	市民福祉部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(2)快適な住環境の整備
検 討 課 題	定住人口確保のために
現 状	<p>少子高齢化、過疎化が進んでいる当地域ではあるが、水道はほぼ全域に供給されていて、下水道も一部山間部集落を除き整備されている。</p> <p>住宅が密集している6地区には流雪溝が設置され冬季交通の確保に資している。</p> <p>医療機関は開業医と病院付属の診療所、歯科開業医の各1があり、公設、民間の介護施設も各1ある。</p> <p>高齢者が安心して住むには冬季の雪対策が重要となっているが、グループホームや生活支援ハウスの利用や玄関前の除雪支援がある。</p>
問 題 点	<p>高齢独居世帯や高齢者世帯等の見守り体制を構築し安否確認や屋根の雪下ろし等の対策が必要とされている。</p> <p>人口減少と共に空き家が増えていて管理も行き届いていない家が点在している。</p> <p>高齢者のドライバーが増加しているが危険回避のため、公共交通機関の路線バスとコミバスの利用促進が必要である。</p>
目指すべき方向	<p>東由利で暮らしていくためには「克雪」「少子化」「交通」が重要な課題と考えられる。</p> <p>移住者のための施策と併行して、現にここで暮らしている人、これからも暮らし続けてくれる人のための施策が必要。</p> <p>交通弱者でもある高齢者や障がい者でも安心して住めるように、在宅でも医療が受けられるような医師、医療施設の充実が望まれる。</p>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者世帯に対する雪対策を含む住宅の管理や見守りについての相談窓口の充実</li> <li>・特別豪雪地帯での暮らしに対して、地域限定版の住宅対策(増改築、修繕費助成拡充)</li> <li>・保育料のさらなる軽減と福祉医療の無料化を高校生まで拡充</li> <li>・快適で安全に暮らすために生活道路や歩道、流雪溝を整備拡充</li> </ul>
参考・資料・写真	

## 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(2)快適な住環境の整備
検 討 課 題	良質な住環境の形成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅 14棟(25世帯) 〔家族用 21戸、独身用 4戸〕</li> <li>・支援ハウス(一人暮らし老人用 8戸)</li> <li>・民間貸屋 なし。</li> </ul>
問 題 点	住宅に困窮している者によって、民間賃貸住宅のない当地域では、市営住宅への依存度が大きい。
目指すべき方向	<p>計画的な市営住宅の整備改修を実施し、若者の定住促進及び住宅困窮者の解消を図り安全安心な住環境整備に努める。</p> <p>[整備計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅修繕 2,500千円／年</li> <li>・平成32年 市営住宅新築 2戸</li> </ul>
具体的な施策	・計画的な市営住宅の整備・改修
参考・資料・写真	   <p>H26新築 1棟(2)</p>

# 東由利まちづくりビジョン個票


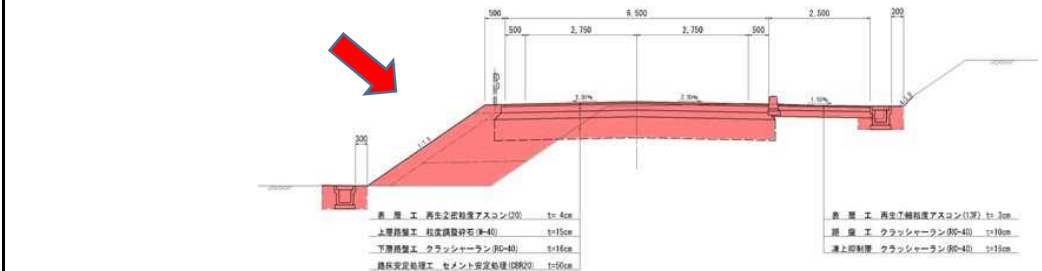
部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(2)快適な住環境の整備
検 討 課 題	上下水道の整備と生活雑排水対策の推進
現 状	水道給水人口 東由利簡易水道 3,254人、大琴簡易水道 288人 黒沢小規模水道 21人、高村小規模水道 11人、新沢小規模水道 18人 大台飲料水供給 29人 未給水地区 5地区、97人 下水道整備区域人口 3,006人、加入率 74%(未整備区域人口 712人)
問 題 点	平成27年4月現在、下水道未整備地区 1地区、水道の未給水地区 5地区あるが、安全、安心、快適な住環境を構築するため、下水道未整備地区、水道の未給水地区の解消を図る。
目指すべき方向	快適な住環境整備のため、簡易水道統合事業により平成29年までに未給水地区の中ノ沢、須郷地、板戸地区の整備を実施し、また現在独自水源である沼、杉森、黒沢、高村、新沢地区についてもボツメキ水源水を供給し安全・安定した上水道網を構築する。 下水道については、新たに田代黒淵地域の整備を平成28年までに完成させる。 〔整備計画〕 ・東由利簡易水道統合事業(沼、杉森、黒沢、中ノ沢、高村、新沢、須郷) H23～H28 ・板戸地区簡易給水施設整備 H26～H27 ・田代黒淵地区農業集落排水事業 H23～H28 〔事業完了後〕 ○上水道給水人口 東由利簡易水道 3,615人 大台飲料水供給施設 29人、板戸飲料水供給施設 27人 未給水地区 2地区、47人 ○下水道 下水道整備済区域人口 3,515人、(未整備区域人口 202人)
具体的な施策	・農業集落排水の整備 ・簡易水道の整備・統合 ・未給水地区の解消
参考・資料・写真	整備中のボツメキ浄水場(H25～H28) 




# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	市民福祉部会	
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上	
基 本 計 画	(3)機能的な社会基盤の整備	
検 討 課 題	交通空白地帯の解消と交通弱者の救済	
現 状	<p>東由利地域は国道や県道を通るバス路線から離れた地区に居住地が広く散在している。</p> <p>コミュニティバス運行前の公共交通のカバー率は41.8%であり市全体の68.6%を大きく下回り、市内で最も公共交通空白地帯が広い状態となっていたが、平成28年10月に「八塩線」「法内線」「大吹川線」の3路線が運行され、カバー率は72.3%となっている。しかしながら、公共交通機関が居住地を網羅できておらず、山間部においては買い物や通院などの際、隣人や縁故者の送迎や乗り合いに頼る高齢者が少なくない。</p>	
問 題 点	<p>近隣に病院や商店が無く外出や買物が不便となっている。</p> <p>自動車等の移動手段が無い人(小学生～高校生)への支援が無い。</p> <p>高齢等により運転免許を返納する者が多くなってきている。</p>	
目指すべき方向	<p>コミュニティバス運行を継続するため、利用者を増やす取り組みを地域が一体となって検討する。</p> <p>既存3路線の利便性の向上と新規路線の検討を行う。</p>	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年1月に立ち上げた「コミュニティバス利用促進協議会」で既存路線の経路や時刻表の見直し、便数、運行日などの利便性の向上対策を検討する。</li> <li>・新規路線の運行に向けて、住民ニーズ等を把握し、新規路線の導入が可能か検討する。</li> </ul>	
参考・資料・写真		<p>コミュニティバス八塩線</p>

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業・建設に関する部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(3)機能的な社会基盤の整備
検 討 課 題	道路網の整備
現 状	東由利地域 ・市道延長 L=212km〔改良率68%〕 歩道延長 L=10km〔9路線〕 ・国県道延長 L=56km〔改良率60%〕
問 題 点	本地域の道路状況は、国県道の改良率は、まだまだ低い状況にある。 また、市道の整備状況についても、通学路に歩道が整備されていなかったり、街灯がなく安全な通行状況が確保されていない路線もある。
目指すべき方向	・国県道を幹線とする道路網の整備促進。 ・市道の計画的な整備、補修。 ・集落を繋ぐ連絡道の整備。 ・狭隘で危険な道路の解消。 ・通学路の歩車道分離。 ・街路灯、街路樹の計画的な整備。 〔整備計画〕 ・金山線道路改良事業(H23～H30) ・中学校線歩道設置事業(H25～H29) ・街灯のLED化事業(H29～H30)
具体的な施策	市道の計画的な整備、補修。狭隘で危険な道路の解消。通学路の歩車道分離。 街路灯、街路樹の計画的な整備
参考・資料・写真	<p>中学校線(現況)</p>  <p>完成断面 幅員10m(5.5m)</p>  <p>     最上層 再生交差積層アスコン(20) t=4cm      上層積層工 粒状調整砂(5-40) t=15cm      下層積層工 クラッシュアラン(50-40) t=16cm      路床安定処理工 セメント安定処理(8%20) t=50cm      最上層 再生工機積層アスコン(17) t=3cm      路 盤 工 クラッシュアラン(50-40) t=10cm      溝上層処理工 クラッシュアラン(50-40) t=15cm   </p>

# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	産業建設部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(3)機能的な社会基盤の整備
検 討 課 題	雪対策の推進
現 状	<p>1) 除雪ボランティア……社会福祉協議会で実施している老人世帯を対象にした除排雪業務受託組織が存在する。</p> <p>2) 除雪機械……22台で市道128km除雪を実施。しかしながら、更新時期を経過した機械も少なくない状態である。</p> <p>3) 流雪溝……7地域(7組合、403戸)で11kmで運用中。</p> <p>4) 除雪格納庫……黒淵車庫(4台)、横渡車庫(5台)</p>
問 題 点	<p>1) 屋根の雪下ろし作業を含めた、民間除雪受託組織の存在が望まれている。</p> <p>2) 細やかな除雪作業を実施するためには機械台数が不足である。</p> <p>3) 流雪溝組合員の高齢化等により排雪されない箇所が多くなっている。</p> <p>4) 現存の格納庫ではすべての、除雪車を格納することができない。</p>
目指すべき方向	<p>きめ細やかな除雪体制を構築するため、除雪ボランティア組織等の強化、除雪機械の計画的な更新・増強、流雪溝の整備改修、除雪センターの整備。</p> <p>[整備計画]</p> <p>除雪機械更新 H28～H39 11台</p> <p>除雪センター整備 H34</p>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流雪溝の整備・改修。除雪機械の計画的な更新。</li> <li>・除雪センターの整備。除排雪の計画的な実施。</li> <li>・細やかな除雪体制。</li> </ul>
参考・資料・写真	


# 東由利まちづくりビジョン個票


部 会 名	市民福祉部会
基 本 政 策	2 安全・安心・快適な定住環境の向上
基 本 計 画	(4)防災・減災のまちづくり
検 討 課 題	防災意識の高揚と克雪の取り組み
現 状	東由利地域は大きな災害が発生していないことから、住民の防災意識が低く災害を想定した対策検討がとれている。そのため自分たちが暮らしている地域の危険箇所や災害時の避難行動の周知、徹底がなされていない。 積雪に対する除雪方法として流雪溝が設置されている自治会では、流雪溝の蓋が重く利用者(特に高齢者)は軽い蓋を望んでいる。 人口減少により消防団員の確保が難しくなっている。
問 題 点	各地区の危険箇所については、ある程度確認しているが、自治会として確認や調査をできずにいる。 流雪溝の蓋が重く軽量化が望まれていたが今まで声として出ていなかった。蓋は個所数が多く、費用と優先順位をつけて数年の解消計画を策定することが必要である。 人口減少による団員不足は免れない所であるが、在住者であっても本人の加入意志がなく減少傾向が続くと思われる。
目指すべき方向	東由利全体を考えた除雪組織作りが急務である。その上で、除雪機購入補助金等の支援が望まれる。 行政が開催する自主防災組織の事業を各自治会においても独自に開催できるように支援する。自治会自らのハザードマップ作成を進め、地域住民が避難経路の確認や自助、共助に対応出来るように研修機会を進める。 屋根の雪下ろしや玄関前の除雪の組織作りや体制づくりが必要である。特に高齢者や身体が不自由な人に対する支援活動が望まれる。 流雪溝の蓋を軽く開けるテコを利用した棒を利用している所がある。安価で作成出来ることから行政で支援(補助)し、作業の軽減を図る。 消防団は、女性団員や機能別団員を募り有事に備える。
具体的な施策	①研修、訓練、視察等の実施。②自主防災活動備品等の整備。③危険箇所の把握とハザードマップ作成。④地域災害の情報共有。⑤防災施設・設備の整備改修。⑥各種訓練の推進・充実。⑦防災組織の再編と見直し。⑧消防施設・設備の整備改修。⑨退職消防団員(機能別団員を含む。)の再入団。⑩機能別団員への研修の実施。⑪消防団組織の再編と見直し。⑫機能別消防団員の有効的な活動(一般団及び地域住民の連携が取れているか)⑬消火栓等の維持管理。⑭雪への対策、自主防災、一人一人の日頃の意識注意、現状の再点検、自助努力、呼びかけ声かけ。⑮除雪ボランティア組織づくり。
参考・資料・写真	 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">防災訓練でのバケツリレー</p>




# 東由利まちづくりビジョン個票

部 会 名	市民・福祉に関する部会												
基 本 政 策	3 笑顔あふれる健康・福祉の充実												
基 本 計 画	(1)保健・医療の充実												
検 討 課 題	健康寿命を延ばすために												
現 状	<p>生活習慣病の増加などとも高齢者数(高齢化率40%)も増加し高齢層の医療費、介護給付費の増高につながっていると考えられている。</p> <p>高齢者世帯や一人暮らし高齢者の増加への対応には、行政だけでなく地域住民のボランティア活動による居場所づくり、生きがいつくりの場を創出して人生(生活)の質の向上が求められている。</p> <p>病気予防のための健康管理、病気への早期対応のための各種健診事業、罹病後の地域医療の充実を図ろうとしている。</p>												
問 題 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の早期発見、早期治療のために各種健診の受診率の向上</li> <li>・地域内開業医師の確保と医療施設の整備</li> <li>・地域ボランティア組織の育成</li> </ul>												
目指すべき方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣を見直すなどして健康づくりを推進し、健康寿命を平均寿命差に近づけられる対策が求められ、生活の質の向上とともに、医療費や介護給付費などの社会保障費の増高を抑えることができる。</li> <li>・高齢者でも障がい者でも安心して地域で暮らせるように、地域ボランティア組織との連携と地域内の医療体制を整える。</li> </ul>												
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいと楽しみを持てる参加型事業を行う。</li> <li>・高齢化社会に対応した、高齢者向けスポーツ指導者を養成する。</li> <li>・現在の診療所を無くさないための対策(後継者問題)を検討する。</li> <li>・地域在住医師の確保を検討する。</li> <li>・小児病予防事業を充実させる。</li> <li>・ケーブルテレビをベースにした新しいサービスを開発し市民生活に活力を与える。</li> </ul>												
参考・資料・写真	<p style="text-align: center;">平均寿命と健康寿命の差</p> <p style="text-align: center;">(年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>平均寿命 (年)</th> <th>健康寿命 (年)</th> <th>差 (年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>79.55</td> <td>70.42</td> <td>9.13</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>86.30</td> <td>73.62</td> <td>12.68</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"> <span style="color: blue;">■</span> 平均寿命 <span style="color: red;">■</span> 健康寿命  <small>(日常生活に制限のない期間)</small>  <span style="color: blue;">↔</span> 平均寿命と健康寿命の差   </p> <p><small>資料:平均寿命(平成22年)は、厚生労働省「平成22年完全生命表」 健康寿命(平成22年)は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」</small></p> <p>由利本荘市 平均寿命(2010年) 男性 78.5歳 女性 86.1歳</p>	性別	平均寿命 (年)	健康寿命 (年)	差 (年)	男性	79.55	70.42	9.13	女性	86.30	73.62	12.68
性別	平均寿命 (年)	健康寿命 (年)	差 (年)										
男性	79.55	70.42	9.13										
女性	86.30	73.62	12.68										

部 会 名	市民・福祉に関する部会
基 本 政 策	3 笑顔あふれる健康・福祉の充実
基 本 計 画	(2)子ども・子育て支援の充実
検 討 課 題	少子化対策のあり方
現 状	<p>合併時4,700人の人口が当地域の高齢化(40%の高齢化率)、少子化がすすみ約1,000人が減少しており、出生数も最近は10人ぐらいとなり、人口減少に歯止めがかからなくなっている。</p> <p>福祉医療助成制度が拡充(出生から義務教育期間の医療費負担無料化)されたが、子育てに係る経済的負担の一層の軽減が望まれている。</p> <p>就労年齢時に地元で働く場がないか極端に少なく、選択肢を他県、他地域に求めるしかなかった。</p>
問 題 点	<p>地域の人口減少はそのまま労働者数の減少に結びつき、経営者側も事業の維持拡大が難しくなり、雇用の減少になる悪循環に陥っている。</p> <p>ともすれば社会的弱者である高齢者への対策が重視され、若者の意見を見逃していた感がある。</p> <p>子育て世代は共働きや経済的負担により、家族を増やす余裕がなくなっている。</p>
目指すべき方向	<p>将来、子ども達が地域に暮らすことに希望が持てるように、暮らしやすさを前面に総合的な対策が必要とされている。</p> <p>子育て世代の確保が地域存亡を担っているため、雇用、保育、教育の充実を図る。</p> <p>少ない人口だからこそできた施策により、地域の人口減少に歯止めがかかった町や村の先進事例を調査研究する。</p> <p>若者の地元で就労して暮らして行くことに対する考え方を知り、対策を講じる。</p>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元に残る可能性が高い第一子(跡継ぎ)対策を講じる</li> <li>・事業主懇談会での対策検討</li> <li>・福祉医療助成制度を拡充(高校生まで医療費負担無料化等)</li> <li>・希望者を誰でも受け入れられる保育制度</li> </ul>
参考・資料・写真	


部 会 名	市民・福祉に関する部会
基 本 政 策	3 笑顔あふれる健康・福祉の充実
基 本 計 画	(3)高齢者福祉の充実
検 討 課 題	介護支援の充実
現 状	<p>地域内には介護事業所として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会東由利支所 ケアプラン作成、グループホーム「きざくら」同ショートステイ、デイサービス、訪問介護</li> <li>・特別養護老人ホーム東光苑 ケアプラン作成、特養「東光苑」同ショートステイ、デイサービス</li> <li>・JA秋田しんせい(地域外) ケアプラン作成、デイサービス、訪問介護</li> </ul> <p>の各サービスの提供が実施されている。          なお、特養「東光苑」は市の指定管理制度導入により平成29年度より社会福祉法人に移管される。</p>
問 題 点	<p>東光苑に併設されている「地域包括支援サブセンター」の機能が「中央地域包括支援センター」として本庁内に移る等、指定管理者移行後の体制について地域住民への周知が必要となる。          支所では相談窓口としての取り次ぎのみとなり、地域住民との関係が希薄にならないか懸念される。</p>
目指すべき方向	<p>在宅の要支援、要介護者に対する支援を充実させ、家族の介護に係る負担軽減を一層図れるような制度の充実が望まれる。          支所内に地域包括支援センターに直接かかわる人員配置とならないため、介護の拠点としての機能あらためて地元で構築する必要がある。          福祉関連施設には地域の福祉実践の場として、ボランティアの受入れや福祉教育の提供などを通して、地域との連携の場としての役割を担ってほしい。</p>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度に該当しない方でも、要望があれば供給できる介護支援の拡充</li> <li>・高齢者向けスポーツ指導者を養成して介護の予防対策を実施</li> <li>・ミニデイサービスの活動支援</li> <li>・緊急時の福祉避難施設としての機能の強化</li> </ul>
参考・資料・写真	



部 会 名	教育文化部会
基 本 政 策	4 ふるさと愛を育む次代の人づくり
基 本 計 画	(1)幼児教育・学校教育、青少年健全育成の充実
検 討 課 題	ふるさと愛の醸成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の過疎、高齢化や少子化、核家族化が進むことで、地域と子ども達、や住民同士のつながりが極度に希薄化してきている。</li> <li>・社会、家庭環境の急激に変化しており、若年層と成年者・高齢者との意識・認識のギャップが増大、複雑化している。</li> <li>・子ども達が、スポ少等で疲れている。</li> </ul>
問 題 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で培ってきた伝統、先人の知恵等が引き継がれなくなりつつある。</li> <li>・子ども達を育てる側の大人自体が、地域の良さ・素晴らしさをよく理解・認識していない。</li> <li>・子ども達が忙しすぎてゆとりがない。また、回りの子ども達に対する過大な期待が負担になっている。</li> <li>・地域の大人がふるさとを良く言わない。(自信・誇りをもっていない。)</li> <li>・地域住民に、積極さや前向きな意識が不足している。</li> </ul>
目指すべき方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心とふるさと愛を育むために、まず地域の大人が変わることが必要。</li> <li>・まず住民自身がもっと地域をよく知り見直して、ふるさとの良さを再確認するための機会を提供して地域理解を深め、子ども達にそれを伝えてゆく姿勢を示す必要がある。</li> <li>・コミュニティースクール事業等をより推進することで、こどもたちを地域で育てていく大人側の理解を深め、意識を高めると同時に、子ども達が地域に目を向け、地域に関わることの喜びを感じてもらう。</li> <li>・地域住民同士が集い、出会える場を増やして元気や活気を創出し、地域好感度を上げる。</li> <li>・地域住民の元気、前向きな気持ちを高める方策を検討実施していく。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティースクール事業の継続的な実施と地域の関わりの推進。</li> <li>・子ども達が地域(人・文化)に出会える体験、機会を増やしていく。</li> <li>・地域住民にふるさとの良さをもっと知ってもらう機会、場の創出。</li> <li>・子ども達に地域の良さを知ってもらうための、ふるさと学習の実施。(地域の人を講師に)</li> <li>・地域にもっと自信と誇りを感じてもらうため、隠れた人材や素晴らしいところの掘り起こしと活用、PRを進める。積極的に発信する。</li> </ul>
参考・資料・写真	



部 会 名	教育文化部会
基 本 政 策	4 ふるさと愛を育む次代の人づくり
基 本 計 画	(2)生涯学習社会の推進
検 討 課 題	芸術文化の振興と文化財保護の推進
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ではぐくまれてきた伝統文化に触れる機会が無くなってきており、継承者不足により存続が危ぶまれている。</li> <li>・過疎化、少子高齢化により芸術文化的な活動が低迷し、経済情勢が上向かないことで更に芸術文化に向けられる目が減少している。</li> </ul>
問 題 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落の人口減少、若者の減少(若者の地域外流出)、子供の不在等により地域の継承者不足が生じている。</li> <li>・高齢化、不景気等により、芸術文化的活動を行う住民が少なくなっている。</li> <li>・先覚者等の顕彰活動や地域特色を生かした事業は実施しているものの、広がりがみられない。</li> <li>・活動するための場(環境)が整っていない。また、指導的人材やサポート体制が不足。</li> </ul>
目指すべき方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の芸術文化に触れる機会の積極的創出。</li> <li>・伝統芸能活動団体の維持存続への支援、サポート。</li> <li>・地域の芸術・文化活動の掘り起こしと育成。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、大人それぞれに東由利地域に関する自然・文化・歴史について知ってもらう体験活動や講演等の機会をつくる。</li> <li>・芸術文化活動の支援を積極的に行う(情報提供・発表の場の提供等)</li> <li>・生涯学習センターの地域文化・文化財、民俗資料等の保管展示や自然、先覚者の紹介等の充実を図り、体験学習、啓蒙の場としてして更に活用していく。また、道の駅周辺施設などと連携して施設外での展示を行い、目に触れる機会を増やしていく。</li> <li>・地域の分野毎の埋もれている優秀な人・名人などの人材の掘り起こしとPR</li> </ul>
参考・資料・写真	  

部 会 名	教育文化部会
基 本 政 策	4 ふるさと愛を育む次代の人づくり
基 本 計 画	(3)スポーツ立市の推進
検 討 課 題	既存体育施設の維持・存続とスポーツの振興策
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の老朽化。</li> <li>・若年・青年層の減少、少子高齢化によりスポーツ人口の減少が見られ、実施可能なスポーツも限定されつつある。</li> </ul> <p>通勤就業者が多く、地域内の平日のスポーツ活動が極端に少なく、また、地域内行事イベント等が土日に集中するため、参加者の確保が難しい。</p>
問 題 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎、少子高齢化により、スポーツ人口の減少が見られる。</li> <li>・通勤就業者が多く、地域内の平日のスポーツ活動が極端に少なく、また、地域内行事イベント等が土日に集中するため、参加者の確保が難しい。</li> <li>・スポーツ少年団等の活動に偏りやエスカレートが散見される。</li> </ul>
目指すべき方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツによる健康で元気なまちづくり</li> <li>・スポーツ推進委員と連携したスポーツ教室、各種大会の企画開催、毎年開催されるチャレンジデーや健康づくり事業を推進して体力づくりに対する積極的な意識付け。</li> <li>・地域スポーツとしてパークゴルフを位置付けして振興策を展開していく。</li> </ul>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進員と連携し、スポーツ教室、スポーツ大会を開催し体力づくりをする。</li> <li>・高齢でも手軽に出来る生涯スポーツ、レクリエーション、体力づくりの推進を行い、健康年齢の向上を目指す。</li> <li>・現有体育施設を見直しながら維持改修し、よりよいスポーツ環境を整える。(野球場改修、パークゴルフ場増設、スキー場運営の見直し)</li> <li>・地域全体として地域開催される事業、イベント等の確認と調整を行うことで、重複開催を抑えるなどしてゆく。また、事業等の平日開催についても検討を行う。</li> <li>・健康づくりと温泉施設を結んだ健康増進策を検討。</li> </ul>
参考・資料・写真	



部 会 名	市民・福祉に関する部会
基 本 政 策	5 市民主役の地域づくりと市政経営
基 本 計 画	(3)住民自治の推進
検 討 課 題	地域コミュニティ機能の活性化
現 状	<p>当地域には61の自治会が存在し、世帯数の最も多い自治会は「新町」で105世帯、最も少ないところでは「中ノ沢」と「畑村」が各3世帯、平均では1自治会当たり20世帯という現状である。</p> <p>人口減少により小規模自治会においては活動が制限され、活性化の取り組みも難しく、さらに多くの自治会において将来の不安を持っている。</p> <p>会長職が輪番制になっている自治会があり、自治会が抱えている問題をうまく引継ぎできず、未解決のままとなっているケースがある。</p> <p>独り暮らしや高齢者など、自力で家屋等の管理作業や除雪ができない世帯が増え、地域の助けが必要となってきている。</p>
問 題 点	<p>自治会や地域の課題を知らないまま自治会長を交代している場合があり、また中には規約等が無い自治会もある。小規模自治会によっては、自治会組織の運営や、継続的な活動ができなくなっているところがある。</p> <p>近隣との合併を考えている自治会もあるが、相手の意向や財産所有の有無等さまざまな問題があり、現実的に課題が多く、実現が難しい。</p> <p>地域で取り組みたいことがあっても、中心となって活躍できるリーダー的な人材が不足している。</p>
目指すべき方向	<p>自治会の将来を見据えて、小規模自治会については近隣自治会との合併の必要性を検討するとともに、自治会の将来像をしっかりと描き後継者に伝えていくことが重要である。</p> <p>除雪などのボランティア活動について、単独自治会で組織することが困難な場合は、より多くの自治会と連携し、問題解決の実現が図られることが望ましい。</p> <p>ケーブルテレビの機動力をアップし、地域の活動や斬新な取り組み等を紹介し、また、地域住民参加型の番組を作製するなど、地域活動に楽しさや希望、連帯感などが生まれるようにしたら、活力の輪が広がるのではないかな。</p>
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「町内会・自治会げんきアップ事業」による「町内点検情報」を活用し、必要に応じて同事業の支援を活用する。</li> <li>・NPO法人、ボランティア組織などが活動できるような行政支援体制と、地域リーダーの発掘や養成を実施する。</li> <li>・社会に貢献できる技能を持った人の発掘、登録制度を検討。ボランティア活動できる場やしきみを作る。</li> </ul>
参考・資料・写真	 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">蔵地区のまち歩きワークショップ (グループ発表)</p>

# 東由利まちづくり協議会委員名簿

(任期:平成27年8月1日～平成29年7月31日)

No.	委員区分	氏名	性別	所属・役職等	運営部会	専門部会	備考
1	1	佐々木 長円	男	東由利自治会連絡協議会会長		市民福祉	
2	1	伊東 健一郎	男	東由利自治会連絡協議会副会長		市民福祉	副部会長
3	1	菅原 賢治	男	東由利自治会連絡協議会副会長		教育文化	副部会長
4	1	小野 義雄	男	東由利自治会連絡協議会会計理事		産業建設	
5	2	阿部 真知子	女	(株)黄桜の里		教育文化	
6	2	石渡 香菜子	女	東由利特産物振興会副会長		産業建設	
7	2	伊東 一夫	男	商工会東由利支所		市民福祉	
8	2	佐藤 則子	女	商工会女性部東由利支部	○	教育文化	部会長
9	2	阿部 重雄	男	観光協会東由利支部		産業建設	副部会長
10	2	畠山 繁光	男	東由利体育協会理事		市民福祉	
(11)	(2)	(大沼 孝昭)	(男)	(東由利芸術文化協会)		(産業建設)	(H28.6.30辞任)
12	2	小野 長清	男	東由利グリーン・ツーリズム研究会	○	産業建設	部会長
13	2	嶽石 伊久雄	男	東由利地域認定農業者協議会		教育文化	
14	2	梅津 正明	男	東由利中学校PTA会長		産業建設	
15	3	小松 幸円	男	元大学教授	会長	市民福祉	協議会長
16	3	長谷山 恵子	女	会社役員	副会長	教育文化	副会長
17	3	小野 純恵	女	東由利地区PTA連絡協議会副会長		教育文化	
18	4	小野 久隆	男	(公募委員)		産業建設	
19	4	荘野 康成	男	(公募委員)	○	市民福祉	部会長
20	4	高橋 敦子	女	(公募委員)		教育文化	

【委員定数 20名:決定委員数 20名(うち1号委員 4名、2号委員 10名、3号委員 3名、4号公募委員 3名)】

【委員区分】 1…町内会等の推薦、2…活動実践団体の推薦、3…学識経験者、4…公募